

RI2820地区

水海道ロータリークラブ



四つのテスト

- 言行はこれに照らしてから
1. 真実か どうか
 2. みんなに公平か
 3. 好意と友情深めるか
 4. みんなのためになるか どうか

2013-2014年度 RI会長
ロン D. バートン

次回例会予定 1月29日 外部卓話 つくばみらい市長
2月 5日

VOL. 51 No. 24(通算No. 2386)

2014年1月22日(水) 例会プログラム

点 鐘

ロータリーソング

ビジター紹介

出席報告

S A A 報告

諸 報 告

幹 事 報 告

会 長 挨 拶

国際奉仕 ツウンバ交換学生報告



写真提供:会報委員会

2013-2014年度 会長 熊谷 昇 幹事 染谷 秀雄

創立 1963年9月25日

《例会場・例会日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790

常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎0297-22-1251

《事務所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386

釜久ビル 3F

TEL0297-30-0875 Fax0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://www.mitsukaido-rc.jp/>



1月はロータリー理解推進月間です

例会報告 VOL. 51 No. 23 (No. 2385) 1月15日(水)曇り(司会 古矢 満副委員長)

本例会での主な事項

◎会長挨拶

◎会員卓話

ピジター

米山奨学生 徐 佳鋭さん

誕生祝



《会員》雨谷道夫会員 大串 卓会員 大塚令昌会員 小島富雄会員 斎藤広巳会員
染谷秀雄会員

《ご夫人》飯塚会員 亀崎会員 山野井会員 海老原会員 青木(正)会員 北村(英)会員

ロータリー財団表彰 マルチプルポールハリスフェロー・ベネファクター



北村英明会員 山崎善市会員 熊谷 昇会員

諸 報 告

親睦活動委員会 雨谷道夫委員長

観劇会の御案内

日時:4月19日(土) 昼の部 歌舞伎座

バス利用:午前9時 白井石油さん前より

現地集合:午前11時

参加費:会員 15,000円 家族:13,000円

国際奉仕委員会 石塚利明委員長

ツウンバ交換学生無事帰国しました。ホストファミリーの皆様、会員の皆様、ご協力ありがとうございました。

1月はロータリー理解推進月間です

飯塚会員

第1回目のオーストラリア交換学生のアンさんが、息子さんをつれて来日しました。隅屋会員ご夫妻と東京で会いました。ご報告致します。

幹事報告 染谷秀雄幹事

週報受理クラブ 藤代RC、水戸RC、水戸西RC、水戸南RC、水戸東RC
例会変更通知 なし

会長挨拶 熊谷 昇会長

ご挨拶申し上げます。

先週の新年会にはたくさんの会員の皆様・ご家族の皆様のご出席をいただき、ありがとうございました。

米山奨学生の徐カエイさんにもご出席いただきありがとうございました。



徐カエイさんには、限られた米山奨学期間ですので、今年の例会はクラブの多くの会員の皆様とお話ができるよう少し席替えをさせてお座りいただこうと思えます。多くの会員の皆様の顔と名前を覚えながら、例会をはじめ親睦の行事を楽しんでいただきたいと思います。

また、石塚委員長をはじめ国際奉仕委員会の皆様には、例年より早めのツウンバからの交換留学生の受け入れを準備していただきありがとうございました。受け入れをしていただいた会員の皆様、ご家族の皆様にもあらためて感謝申し上げます。ありがとうございました。

昨日、留学生の皆さんが無事帰国の途に就いたとのことですのでございます。お疲れ様でございました。来週は今回の滞在報告をしていただけるということで、よろしく願いいたします。

さて今月はロータリー理解推進月間です。今日は、本人がどう思うかは別にして、これからのロータリークラブを担っていただく会員の皆様の卓話、パート1ということでお話をいただく予定でございます。限られた時間の中ですので、私の挨拶は以上とさせていただきます。

会員卓話

荒井孝典会員 私とロータリー



私が水海道ロータリークラブに入会したのは2012年の4月4日でした。約1年9カ月が経ちました。このような機会をいただきましたので、今までに感じたことを話させていただきます。

まず、ロータリーに入ったのは、当時の大塚会長と斎藤幹事にお誘いをいただいたことでした。「今度事務所に行きますから。」と大塚会員に言われて、何の話だろうと思っていたら、「ロータリーに入ってください。皆さんの承認はもう取ってあります。来週から水曜日にお昼を食べにきてください。」と言われました。なんて強引なのだろうと思いました(笑)

正直言いますと「ロータリーか、なんか地元の偉い人とか多そうで大変そうだな。40歳にはまだまだだし、まだ早くないか?」と思いました。「お昼もちゃんと出られるかな?」と色々不安に思っていました。

しかし、実は武藤会員からもその前に一度お誘いいただき、そのときは父を亡くして間もない頃だったのでお断りした経緯がありました。そのため、今回は断れないな、もし断ったらもうロータリーに入れてもらえないかもしれないという思いもありました。

週に一回のお昼くらいは出られるかなと思い、ロータリーについて何も知らないまま入ることにしました。

今振り返ると祖父と父も入っていたので、何となく親しみがあつたのもあるかもしれませんし、親子3代になる

1月はロータリー理解推進月間です

ので運命だったのかもしれませんが。

実際に入ってみて感じたことは、とても皆さんがフランクに接してくれることです。もちろん、祖父や父と仲良くしていただいた方が多いのもあるかもしれませんが、こんなに上下関係や年齢差を感じず接していただける会だとは思いませんでした。すごく居心地よく過ごさせていただいております。ありがとうございます。

しかし実はこのことは、今よく考えてみると、ロータリークラブの目的として自然のことなのかもしれません。青木正弘会員から以前いただいた「ロータリー入門」を読ませていただいたところ、ロータリークラブの発祥は職業人同士が利害関係にとらわれず、本当の仲間になれる会を目指したのが始まりだと感じました。仕事の利害や上下関係ばかりを優先する集まりがありますが、やはりそうした集まりは長続きしなかったり、本音で話せず居心地が悪かったりします。一人一人が職業奉仕を行うロータリアンとしてお互いを尊重し合っているからこそした良い雰囲気を作られているのかなと感じました。しかし、こうした良い雰囲気を自然と作れている水海道ロータリークラブは改めてすごいなと感じます。自分はそんなクラブに入れてとても良かったと誇りに感じています。他のクラブについてはまだよく知りませんが、先輩方の話を聞くとおそらくこんなに良い雰囲気のクラブは少ないのではないかと感じます。

次にロータリーに入って一番良かったことですが、それはロータリーに入らなければ学べなかったであろうことを学べることです。それは、誰かに教えてもらうというより、ここにいるたくさんの先輩方の立ち振る舞いを見て吸収できるということです。普段の会話、例会、委員会活動、飲みの席でのお話、すべてが勉強になります。この若いうちにこの環境に入れていただいたことは自分にとってすごく成長になるなと感じています。「ロータリー入門」によると、委員会に所属するのも奉仕の訓練だということです。私は現在親睦委員会の副委員長を担当させていただいております。大変だなと感じることも多いですが、ロータリーに入っていないければ経験できないことも多く一つ一つが良い勉強になっています。そして、慣れない部分も先輩方がフォローしてくれてとてもありがたいです。ありがとうございます。例会に参加することの大切さが分かってきた気がします。

最初は参加する意味すらよく分からなかったロータリーですが、100周年まではあと50年ありますので、長生きして100周年記念式典で今のロータリーのことを話せるようマイペースに少しずつ学んでいきたいと思えます。今後ともよろしく願いいたします。ありがとうございました。

石井康弘会員 『未来の水海道ロータリークラブと私』



新年あけましておめでとうございます。

2014年新春から、新参者の私が『卓話』の貴重なお時間を頂きましたこと、また、大先輩方の前でお話しさせて頂けることを、こころから感謝申し上げます。

改めまして、夜の部「酒づくり」を担当しております“石井康弘”でございます。

私が水海道ロータリークラブに入会させて頂いてから、約3年が経過しようとしております。私をご紹介して頂きましたのは、松坂会員様、田上会員様でございます。

入会をしてからまず担当させて頂きました委員会は「会報委員会」であります。正面の写真撮影が私の水曜日の仕事となり、また、青木正弘会員様からは「写真を撮る姿もいいね！」と言われた時、何気に嬉しかったことを記憶しております。

次に、現在勤めさせて頂いております「出席委員会」、昨年度からお弁当発注係が SAA 委員会から出席委員会に移行され、てんやわんやしていたことも今では懐かしくも思いました(今も実は、てんやわんやですが…)

私が水海道ロータリークラブに入会し常に思っていることが、『大変貴重な体験・勉強させて頂いていること』です。お世辞ではなく、会社であったり、人との対話であったりと、様々なところで学びとしております。このような会へ入会させて頂き、ありがとうございます。

とても嬉しかったことがあります。それは『50周年記念式典』への参加です。また、50周年記念誌に私がソングリーダーとして指揮棒を振っている姿が載っていること(前日、松坂会員様また会員の皆様の前で練習をさせて頂いた賜物です)も、その一つです。

逆に残念なことはやはり「鈴木豊会員様のご逝去」でした。

1月はロータリー理解推進月間です

50周年の次は『100周年』と常日頃から荒井会員と話をしております。100周年を迎えられるとしたら、私は89歳になっております(がんばります(笑)...)。

今年はIMの開催もあり、何かと多忙になるかもしれませんが、出来る限りのことをさせていただきますので、今後とも、何卒、宜しくお願い致します。

ご清聴ありがとうございました。

五木田益城会員



未来のロータリーをお話し出来るほど知識がございませんので、入会してから今日までに感じたことをお話しさせていただきます。私は松坂会員と田上会員の推薦で入会させていただきました。実は入会のお誘いがあった当初は嫌で嫌で仕方ありませんでした。なぜならば、ロータリークラブとは偉い社長さん達の集まりなので毎週気を使わなければいけないと思っていたからです。入会してしばらくは気が張って疲れたのですが、そのうちに居心地が良くなってきました。それは、先輩方が必要以上に声をかけてくださったり、会話の中に入れて頂いた事で場になじむことができたからです。そうすると毎週例会に出席するのが楽しくなってきました。毎週の例会の雰囲気がとても良いのは、先輩方のお気遣いがあるからこそと思います。自分は先輩方がお作りになったこの例会の雰囲気を未来に繋げることができるようになりたいと思っています。また、数年前に親睦委員会の催し物の件で迷っていた際に故鈴木豊会員に「催し物には成功とか失敗はないんだよ。一生懸命にやれば伝わるんだよ。」とお言葉を頂き、心が軽くなったことがありました。自分もこのような声を掛けられるようなロータリアンになりたいと思います。

出席報告 高須 薫副委員長

会員総数	出席者数	欠席者数	賜 暇	メーク	出席率
54名	36名	16名	0名	16名	100.00%

ニコニコボックス 倉持功典委員長

入金計 ¥114,000 累計 ¥1,288,000

誕生祝御礼《会員》大串・大塚・染谷(秀)・小島・斎藤・雨谷 各会員

《ご夫人》飯塚・亀崎・山野井・海老原・青木(正)・北村(英) 各会員

魚芳様よりみかんいただきました。

あけましておめでとうございます。本年もよろしく申し上げます。先週の新年会ご苦勞様でした。ベネファクター頂きました。 熊谷会員

ポールハリスフェロー表彰頂きました。 山崎・北村(英) 各会員

皆様おめでとうございます。本年もあますところ半期宜しくお願い致します。 大塚会員

今年もよろしくお願い致します。階段を1段上がることだって立派な目標です。次は2段目、今度は3段目にも。

繰り返し挑戦し続けることで可能性はいくつになっても広がりますが、無理は禁物ですね！ 青木(正)会員

いろいろ話したいことはありますが、今日のところは。今年もよろしくお願い致します。 松坂会員

オーストラリアからの留学生は、昨夜無事帰国しました。ホストファミリーの登坂会員、北村英明会員をはじめ多くの方々に感謝致します。 石塚(利)会員

ツウンバ交換留学生無事帰国しました。石塚利明委員長大変お疲れ様でした。 北村(英)会員

今年もよろしくお願い致します。孫が生まれました。 大串会員

ホストファミリーと国際奉仕委員会の皆様お疲れ様でした。英語漬けの生活から解散されホッとしたことと思います。 石塚(克)会員

今年もよろしくお願い致します。徐さんも宜しくお願い致します。 横山会員

今年も宜しくお願い致します。 染谷(正)・秋田・高須・海老原・石井・登坂・五木田(益)・鈴木(邦)・山野井・

1月はロータリー理解推進月間です

白井 各会員 和久事務局
新年会は喪中につき欠席させて頂きました。 青木(英)会員

会報委員会 五木田利明委員長 青木清人副委員長

家族をロータリーに迎え入れる

親愛なるロータリアンの皆さん、私たちはロータリーについて、その部門とさまざまな世代を合わせて拡大家族として話すことがよくあります。私たちは青少年プログラムの参加者や学友をロータリー家族の一員として評価し、また、子どもや家族に対する奉仕に、特に力を入れています。私たちがこのようにしているのは、いかなる家族にとっても、若い世代が未来であることを知っているからです。このことは、私たちロータリーについても当てはまります。

若い世代をロータリーの会員として迎え入れることが、私たちにとって絶対に必要なことであると知っています。私たちはこれまでに多くの時間をかけて、どのようにしたら若い職業人をロータリーに引き付けることができるかを話し合ってきました—しかし、どうしてロータリーに留まらないかについては、恐らく十分に論じてこなかったのではないのでしょうか。

小さい子どもを持つ会員に配慮する

ロータリーに入会した大勢の若い人たちの中には、青少年プログラムの経験者もいます。しかし彼らが自分たちの家庭を築き始めると、その多くは去っていきます。その理由は想像に難いものではありません。それらの人たちは、家族と離れていられる限界を超えてロータリーに時間を取られている若い職業人です。彼らがどんなにロータリーを好きだとしても、配偶者や子どもよりもロータリーの奉仕を優先することはないでしょう。

私たちもまた、彼らにそれを求めるべきではありません。こんなわけで、家族をロータリーに迎え入れる方法を見出すことが、私たちにとってとても重要なことなのです。ロータリーと家族は、ロータリアンの時間を奪い合うものではありません。家族全員を巻き込む奉仕プロジェクトの計画を立てたり、例会中、子どもを預かったり、例会の時間や場所に柔軟性をもたせたりするなどして、私たちは小さい子どもを持つ人たちにとって、ロータリーの奉仕を実行可能な選択肢の一つにする必要があります。

家族のカレンダーにロータリー

皆さんはロータリーに家族を迎え入れ、このように言うでしょう。「家族は皆さんのロータリーの奉仕の邪魔にはなりません。家族は予定から除外されるものではありません。家族を家に置いてお母さんやお父さんがロータリーに出かけるのではなく、ロータリーが家族のカレンダーに書き込まれるのです。ロータリーの家族は現実のものです。これらの子どもたちは自分の親が社会奉仕にかかわっている姿を見ながら成長し、自分たちも関わっていくようになるでしょう。それは家族にとって素晴らしいだけでなく、活動的で奉仕の心を持つ新しい世代の若い会員を育てることにつながり、ロータリークラブにとっても素晴らしいことです」

人生やキャリアのどの段階にあっても、ロータリーには—私たちに、より多くのことをさせる手段、私たちがもっと多くを与えるのを可能にする手段、そして私たちの存在感がもっと増す手段など—、私たち一人ひとりのための何かを持っています。ロータリーは私たちみんなにとってとても大きな存在です。

RON D. BURTON

PRESIDENT, ROTARY INTERNATIONAL

Copyright 2003-2013 THE ROTARY-NO-TOMO

Rotary World Magazine Press **ロータリーの友**

一般社団法人ロータリーの友事務所 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956 email hensyu@rotary-no-tomo.jp